1. 目的

南砺市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化の促進、耐震診断・改修工事技術者に対する技術力向上、一般市民への周知・普及の充実を図ることが重要である。

このため、南砺市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」）では、毎年度、住宅耐震化に係る取り組みを位置付け、その進捗状況を評価するとともに、アクションプログラムの見直し、改善を図ることで、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2. 位置づけ

アクションプログラムは南砺市耐震改修促進計画「第3章 住宅・建築物の耐震化の促進を図るための施策」に基づき策定する。

3. 取組内容・実績及び目標

＜令和7年度取組内容＞

【財政的支援】

- ・住宅の耐震改修費に対する補助を実施
- ・住宅に附属する危険ブロック塀等の除去及び設置費に対する補助を実施
- ・住宅瓦屋根耐風改修費に対する補助を実施

【普及啓発等】

① 住宅所有者に対する直接の啓発

対象住宅の戸別訪問またはチラシのポスティングを実施。旧耐震の住宅が密集している地域を重点的に戸別訪問又はもしくはチラシを配布する。

② 耐震診断実施者に対する耐震化の促進

耐震診断実施後、一定期間経過しても耐震改修を行わない所有者に対して個別訪問または案内を送付。

③ 改修事業者の技術力向上等

- ・富山県とともに、耐震診断・改修工事技術者向けに、技術力向上やコスト縮減のための説明会を実施する。

④ 一般市民への周知・普及

- ・福光地域住宅相談所や市広報、ホームページ、マスメディアを活用し、補助制度等の周知を実施。
- ・イベントや市役所窓口等でチラシを配布し、リフォームにあわせた耐震改修を促進。
- ・固定資産課税明細書に木造住宅の耐震診断・改修への支援について掲載したチラシを同封。

<令和7年度目標>

耐震診断実施戸数 25戸 耐震改修補助戸数 6戸

実績	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
診断	7	9	22	16	12	7	9	8	7	34	40
改修	2	1	2	2	1	0	2	0	0	4	4

4. 自己評価

【前年度取組実績】

- ・市広報やホームページに補助制度の説明を掲載した。
- ・庁舎窓口にリーフレットを設置した。
- ・出前講座・相談会を実施した。
- ・耐震診断後、一定期間経過しても耐震改修を行わない所有者に対して電話等による耐震改修促進を実施した。
- ・南砺市総合防災訓練で耐震のパネル等で周知・普及した。
- ・固定資産課税明細に木造住宅耐震診断・改修への支援等について掲載されているチラシを同封し、制度の周知等に努めた。
- ・市庁舎で耐震改修に関するパネル展示を行い、耐震化の必要性や耐震改修補助制度の概要について周知を行った。

【前年度の課題】

- ・能登半島地震の影響からか耐震診断の件数は増加したが、実際に改修までに至るケースが少ない。
- ・今後も事業の推進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある。

【改善策】

- ・アクションプログラムに基づき耐震化の重要性や補助制度の積極的な周知を継続的に行う。